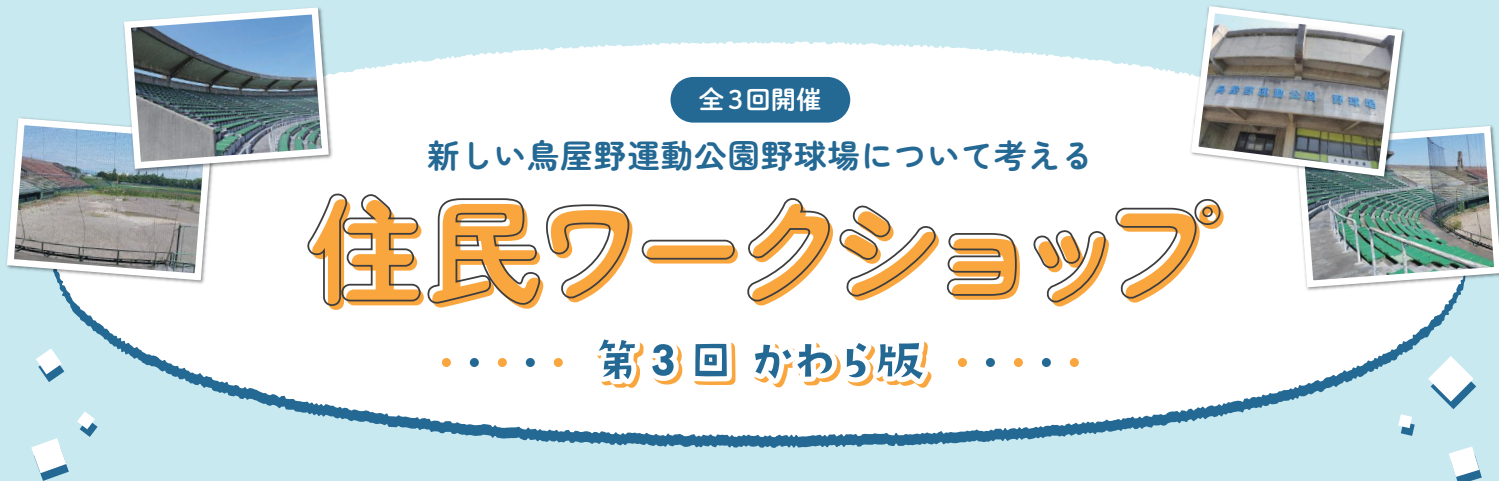




10月25日(土)に新潟県生涯学習推進センターで開催した第3回ワークショップについてお知らせします。

開催テーマ

集まった想いから新野球場のすがたをかんがえよう

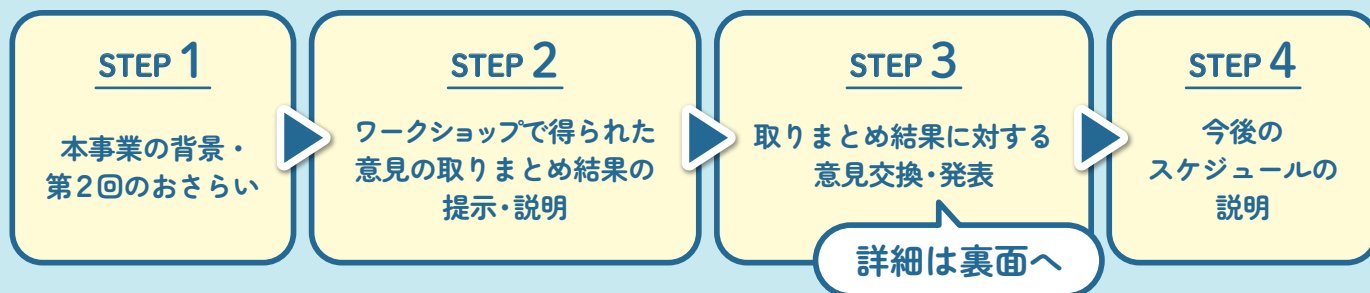
(意見とりまとめ・今後のスケジュール説明)

これまでの議論を踏まえ、本ワークショップにおける皆様の意見の取りまとめ案を提示し、意見交換を行いました。併せて、いただいた意見の活用方法等も含めた今後のスケジュールについて説明をしました。

参加者

女池小学校区のコミュニティ協議会ならびに自治会、地域の野球関係者、中学生の計22名

流れ



野球場建て替えの今後のスケジュール

これまでに、本ワークショップに加えて、関係法令の整理や野球関係者への意見聴取を進めてきました。今後は得られた情報を基に検討・整理を進め、令和7年度中に基本計画を完成させます。令和8年度以降は、民間との連携可能性調査や、地質調査を予定するなど段階的に建て替えを進めていきます。

	R7年度			R8年度以降(予定)
	~10月	~1月	~3月	
関係法令等の整理		市が検討・整理	基本計画完成	民間との連携可能性調査
野球関係者への意見聴取	アンケート等			解体
住民ワークショップ	第1回 第2回 第3回			地質調査 設計 建設

ワークショップで得られた意見の取りまとめ結果案について、意見交換を行い、新しい野球場の機能や利用方法について、住民の意見を以下のとおり再整理しました。

新しい野球場の機能について

降雨後も比較的早く利用できる速乾性のあるグラウンド



雨天時もスポーツの練習等ができる屋内練習室



選手のクーリングタイムや観客の快適性に配慮した空調機能

観客席を日差し等から守る屋根



選手がアップに使ったり、市民が広場として利用できるような芝生スペース



野球場の外周や公園の外周を回るランニングコース

地域の人などが気軽に立ち寄りたいと思える飲食や買い物ができるスペース



ドーム球場や将来ドームに改修できる施工



送迎バス用乗降スペースの整備による自動車台数の抑制

駐車場の出入口や周辺道路の改良による交通渋滞の緩和

防球ネット等の対策を行い、球場沿いにも駐車場を設置



野球場の配置を工夫することで駐車場用スペースを確保

食料や仮設ベッドなどの備蓄がある避難所機能や臨時のヘリポートの役割

災害時や地域の会議にも使える多目的室



災害時にグラウンドや駐車場で仮設住宅が設置できるような設計

雨水対策のための貯水が出来る機能の導入

誰でも利用できるトイレやベンチの設置

こどもや親子が自由にキャッチボールできるスペース



こども用遊具の設置など、周辺施設(交通公園等)と連携した一体的な整備



新しい野球場の利用方法について

周辺施設の駐車場を相互利用

近隣商業施設や飲食施設と連携したキャンペーン等による利用の促進



コンサート会場としての利用

周辺の地域団体等が優先的に野球場を利用できる制度の導入

他競技や周辺の学校の運動会や地域のイベント等での活用



ワークショップでお伝えした建て替えの基本的な考え方(下記)を基本に、

- 1 現野球場の建て替えのため、硬式野球の公式戦が開催可能な機能は維持
- 2 建設時に必要だった機能のアップデート
- 3 野球や野球以外でも利用可能な機能を整備
- 4 野球場として必要な機能を多目的に運用

野球関係者や住民の皆さまの意見を参考に、新しい野球場の機能やコンセプトを基本計画にまとめていきます。

ご多用の中、ワークショップにご参加いただいた皆様には、貴重なご意見とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
今後も何卒よろしくお願いいたします。



かわら版は、新潟市ホームページにも掲載しています。

主催・お問い合わせ

新潟市 文化スポーツ部 スポーツ振興課
☎ 025-226-2601